Vestax

Professional Mixing Controller

PMC-05 Pro III VCA

取扱説明書

〒154-0023
東京都世田谷区若林 1-18-6
電話 03-3412-7011　　ファックス 03-3412-7013

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-05ProⅢVCA プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるよう、お願いいたします。

目次

ご使用上の注意

電源について

●雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
●接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

設置について

●この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
●テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

●通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
●変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
●故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。

修理について

●お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
●当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、8年間保有します。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
●本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

その他の注意について

●スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
●ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体（頭の部分)を持って行うようにして下さい。
●音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分　解　禁　止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源指を挟まれないよう注意抜け

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警　告

電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因たなることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

●ダブルパネル構造により、スクラッチパフォーマンスの際の支障となるフロントパネル上のフェーダー周辺の取りつけビスや、パネルの溝を排除しました。プロDJ の意見を反映したフェーダー配置とともに、高いパフォーマンス性を実現しています。

●スクラッチパフォーマンスの際に要となるクロスフェーダーには、VCA 方式を採用しています。この方式は、クロスフェーダーそのものに音声信号が経由しないため長寿命、高音質を実現しました。

●インプットセレクトスイッチは、操作方向を縦、横、斜め45度毎に設定することが可能です。

●各入力にHI, LO Wの2バンドのイコライザーを装備しています。細かい音質補正が可能です。

●クロスフェーダーリバーススイッチを装備、瞬時にPGM1 , PGM2を入れ替えることが可能です。

●トップパネル上のボリュームにより、クロスフェーダーのカーブ特性を変化させることができます。またインプットフェーダーは、フェーダーユニット上のスイッチによりカーブ特性を3段階に変化させることができます。

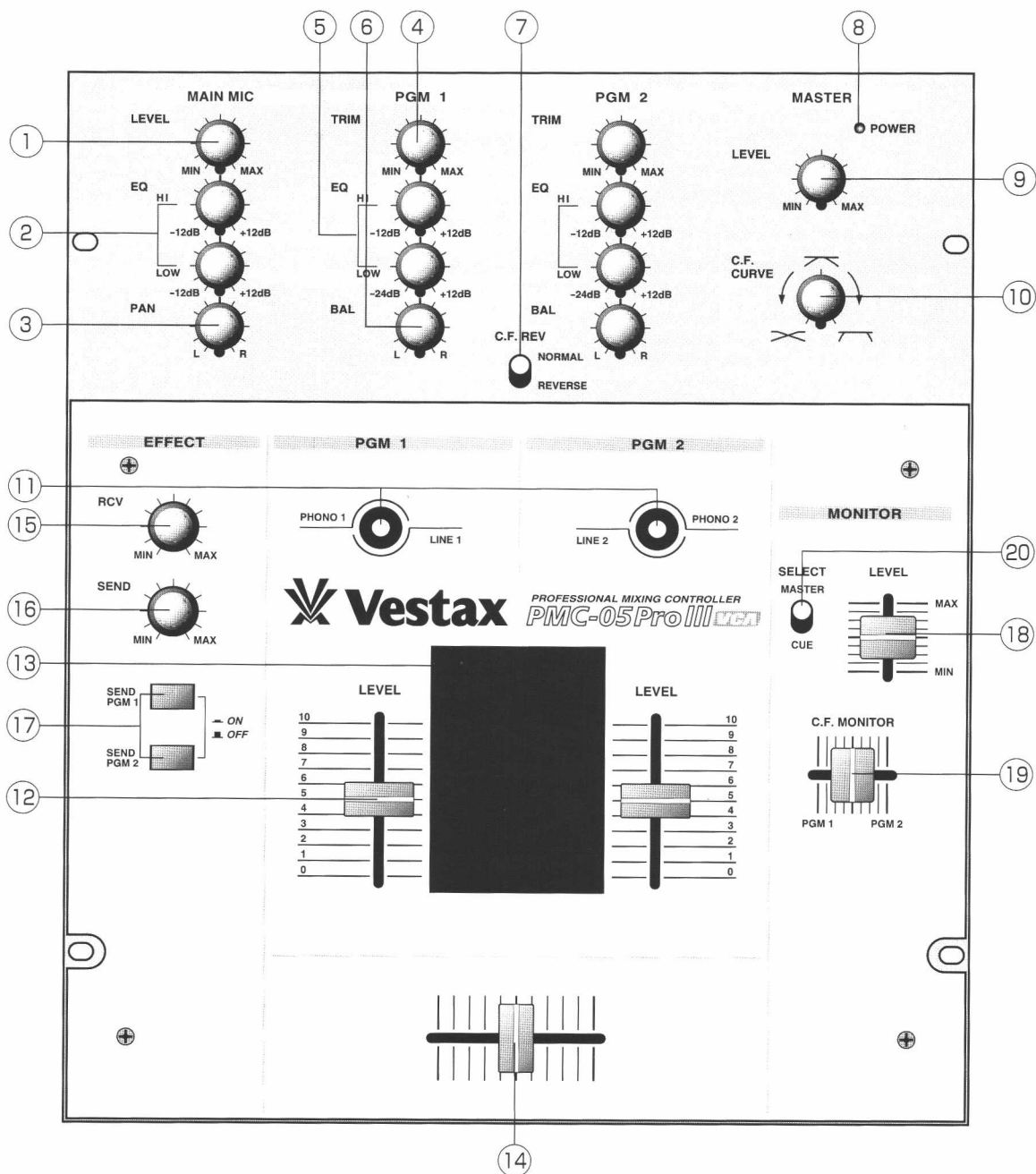
●EFFECT SEND／RECEIVE機能を装備しています。ディレイ等のエフェクターを接続することにより、スクラッチの音にもエフェクトを効かせることができ、DJプレイの幅が更に広がります。

●ヘッドフォンモニターの切り替えスイッチを装備しています。これにより、入力されている信号と出力される信号を切り替えてモニターすることができます。MASTER LEVELボリュームを下げても出力音がモニターできますので、夜間練習する際に便利です。

主な仕様

		定格入力レベル	インピーダンス
入力部	**MIC**	**-54dBv**	**3.3kΩ**
	LINE	**-10dBv**	**10kΩ**
	PHONO	**-42dBv**	**40kΩ**
	RCV	**-10dBv**	**10kΩ**
		定格出力レベル	インピーダンス
出力部	**LINE**	**-10dBv**	**2kΩ**
	PHONES	**58mW max（47Ω負荷）**	**8Ω以上**
	SEND	**-10dBv**	**2kΩ**

周波数特性	**25Hz～25kHz**
クロストーク	**100dB以上**
SN比	**75 dB以上**
THD	**0.01％以下**
外形寸法（**W×H×D**）	**103×320×262mm**
重量	**3.5kg**

各部の名称と機能

トップパネル

① **MAIN MIC LEVEL**
MAIN MIC IN JACK㉕に接続されたマイクの音量を調節するボリュームです。

② **MIC EQ〔HI/LOW〕**
MAIN MIC IN JACK㉕に接続されたマイクの音質を調節するボリュームです。HI、LOWの2バンドの調節が可能です。

③ **MIC PAN**
MAIN/SUB MIC IN JACK㉕に接続されたマイクの定位(左右の位置)を設定するボリュームです。

④ **PGM 1/2 TRIM**
各プログラムチャンネルのPHONO INPUT JACK㉗、LINE INPUT JACK㉖に接続された機器の入力レベルを調整します。通常、インプットフェーダーを最大にしたとき、インプットレベルメーターが"0dB"の位置まで点灯するように設定して下さい。

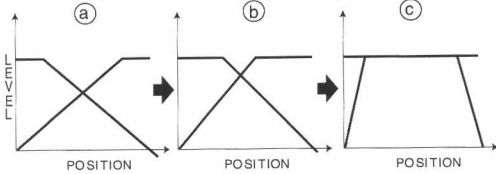
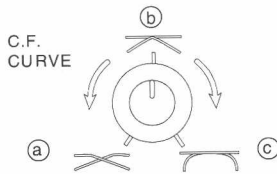
⑤PGM 1/2 EQ〔HI/LOW〕
各プログラムチャンネルのPHONO INPUT JACK㉗、LINE INPUT JACK㉖に接続された機器の音質を調節するボリュームです。HI, LOWの2バンドの調節が可能です。

⑥PGM 1/2 BALANCE
各プログラムチャンネルのL-Rバランスを調節するボリュームです。ターンテーブルのアンチスケーティングを強めに設定したときに生じる、L-Rバランスの不良を補正することもできます。

⑦C.F. REVERSEスイッチ
クロスフェーダーの左右を反転するスイッチです。"NORMAL"側に設定されているときは通常の機能となります。"REVERSE"側にスイッチを倒すとクロスフェーダーを左側に移動するに従いPHONO2あるいはLINE2に入力した信号が、右側に移動するに従いPHONO1あるいはLINE1に入力した信号が出力されるようになります。

⑧POWER LED
POWERスイッチ㉛をONにすると赤色に点灯します。

⑨MASTER LEVEL
リアパネルのLINE OUT JACK㉚から出力される信号のレベルを調節するボリュームです。

⑩C.F. CURVE
クロスフェーダーのカーヴ特性を設定するためのボリュームです。

ボリュームを時計方向にまわすと ⓐ → ⓑ → ⓒ と変化します。
クロスフェーダーカーヴ特性

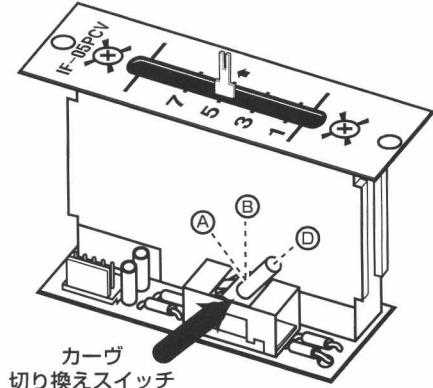
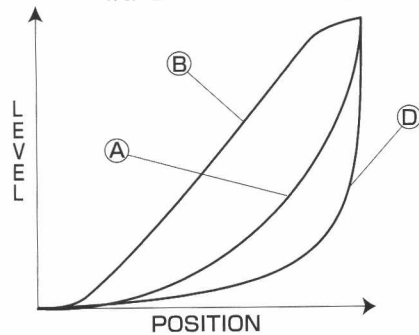
ⓐ…ロングミックス用です。クロスフェーダーを移動させると、ゆるやかに音量が変化し、PGM1, PGM2が入れ替わります。

ⓑ…ⓐ, ⓒの中間です。センター(中央)でPGM1, PGM2の音量が同じになります。

ⓒ…スクラッチ用です。クロスフェーダー両端での音量の立ち上がりが最も急になります。

⑪INPUT SELECTスイッチ
各プログラムチャンネルに入力する信号(PHONO及びLINE)を選択するスイッチです。スイッチを切り替えることにより、PHONO INPUT JACK㉗、LINE INPUT JACK㉖に接続された機器のどちらの信号を入力するか選択できます。また、スイッチは取り付け角度を変更することが可能です。

注　意
取り付け角度の変更については、10ページの"スイッチ方向の変換"をお読み下さい。

⑫INPUT LEVEL
各プログラムチャンネルの音量を調節するボリュームです。下図のようにカーヴ特性を切り替えるスイッチがあります。下図のA·B·Dはグラフ中のA·B·Dに対応します。スイッチを切り替える際はトップパネルを取り外して(9ページ"トップパネルの外し方"参照)、スイッチを操作して下さい。

INPUT FADER CURVE

LEVEL
Ⓑ
Ⓐ
Ⓓ
POSITION

注　意
インプットフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、別売の交換用インプットフェーダーユニット、"IF-05PCV" に交換して下さい。なお、交換は9ページの"フェーダー及びスイッチの交換"をご参照ください。

⑬INPUT LEVEL METER
各プログラムチャンネルに入力されている音量レベルを表示します。

⑭CROSS FADER
左側に移動するに従いPGM1の音が、右側に移動するに従いPGM2の音が、それぞれ出力されます(C.F. REVERSEスイッチ⑦が"NORMAL"側の場合)。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。

注　意
クロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、別売の交換用クロスフェーダーユニット、"CF-PCV" に交換して下さい。なお、交換は9ページの"フェーダー及びスイッチの交換"をご参照ください。

⑮**EFFECT RCV LEVEL**
フロントパネルのEFFECT RCV JACK㉒に接続された機器の入力レベルを調節するボリュームです。

⑯**EFFECT SEND LEVEL**
フロントパネルのEFFECT SEND JACK㉓に接続された機器(外部エフェクター)に送る信号のレベルを調整するボリュームです。CROSSFADER⑭の動きに応じ、SEND LEVELが変化するようになっていますので、CROSSFADERを使いながらスクラッチ音にディレイをかけるなど様々なテクニックが可能となります。

⑰**EFFECT SEND ON/OFFスイッチ**
各プログラムチャンネルの信号をEFFECT SEND JACK㉓に接続された機器に送るかどうかを選択するスイッチです。

⑱**MONITOR LEVEL**
PHONES JACK㉑に接続されたヘッドフォンの音量を調節するボリュームです。

⑲**C.F. MONITOR**
ヘッドフォンでモニターする信号を選択するボリュームです。CROSSFADER⑭と同様にツマミの位置に応じ、PGM 1及び2の信号が切り替わります。

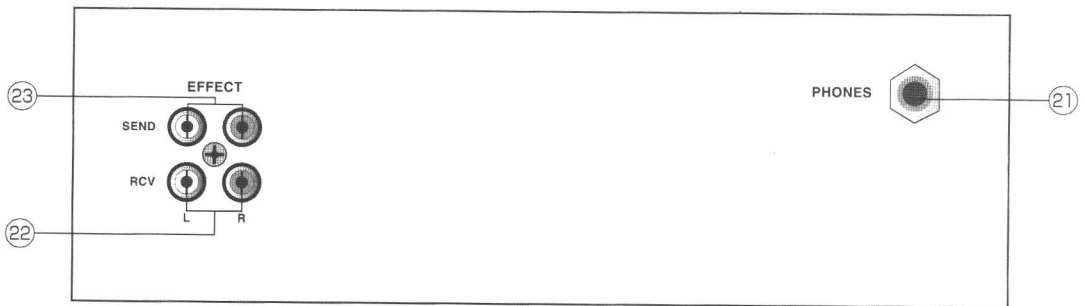
注　意

C.F REVERSE SWITCH ⑦が"REVERSE"側に設定されていても、C.F. MONITORはCROSSFADER⑭に合わせて、REVERSEされません。

⑳**MONITOR SELECTスイッチ**
ヘッドフォンのモニター形式を切り替えるスイッチです。

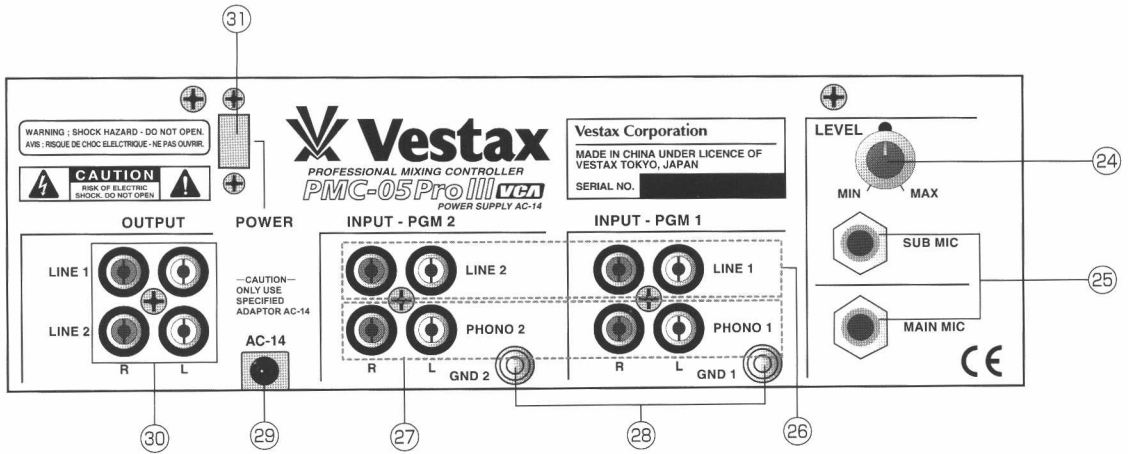
◎MASTER：LINE OUT JACK㉚から出力される信号をモニターすることができます。このときC.F. MONITOR⑲を操作しても、ヘッドフォンから出力される音声は変化しません。

◎CUE：C.F. MONITOR⑲を操作することにより、PGM 1及びPGM 2の信号を任意の音量バランスでモニターすることができます。

フロントパネル

㉑**PHONES JACK**
ヘッドフォン専用の出力端子です。ステレオタイプのヘッドフォンを接続して下さい。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用ください。

㉒**EFFECT RCV JACK**
外部エフェクターの出力と接続するための入力端子です。

㉓**EFFECT SEND JACK**
外部エフェクターの入力端子と接続するための出力端子です。

リアパネル

㉔ SUB MIC LEVEL
SUB MIC IN JACK㉕に接続されたマイクの音量を調節するボリュームです。

㉕ MAIN／SUB MIC IN JACK
MICを接続する入力端子です。

㉖ LINE INPUT JACK
ラインレベルの機器の出力端子と接続するための入力端子です。CDプレイヤー、テープデッキ、DAT、MD等を接続してください。(LINE1はPGM1に、LINE2はPGM2に対応します。)

㉗ PHONO INPUT JACK
レコードプレイヤーの機器の出力端子と接続するための入力端子です。(PHONO1はPGM1に、PHONO2はPGM2に対応します。)

注　意
MC型のカートリッジをご使用の際には、昇圧トランスでレベルを調整する必要があります。

㉘ GND TERMINAL
レコードプレイヤーのアース線を接続する端子です。ノイズやハムを減少させますので必ず接続して下さい。

㉙ AC INPUT JACK
電源アダプターを接続する端子です。専用のアダプター(AC-14)を接続してください。

㉚ LINE OUT JACK
マスターの出力端子です。アンプ等のLINE IN, AUX, または外部機器の入力端子に接続して下さい。

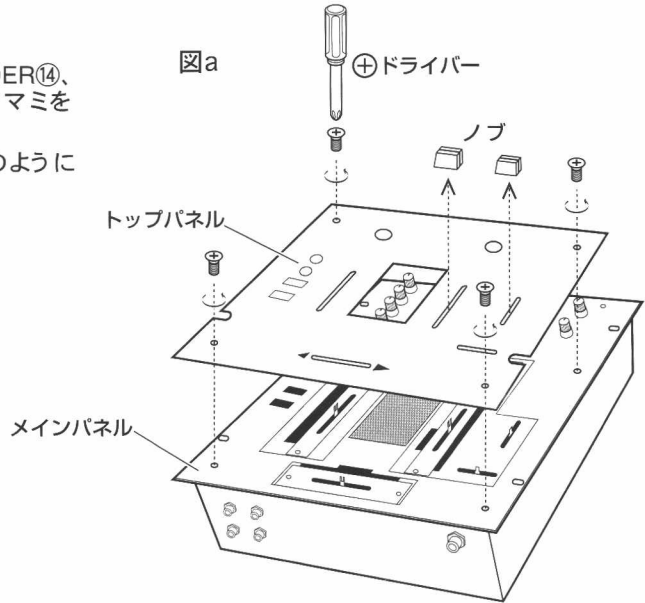
㉛ POWERスイッチ
電源のON/OFFスイッチです。ONの状態では、トップパネル上のPOWER LED⑧が赤色に点灯します。

注　意
このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。電源がONになる際にノイズが入ることがあり、パワーアンプ、スピーカーに悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合破損する恐れがありますので、ご注意下さい。

フェーダー及びスイッチの交換

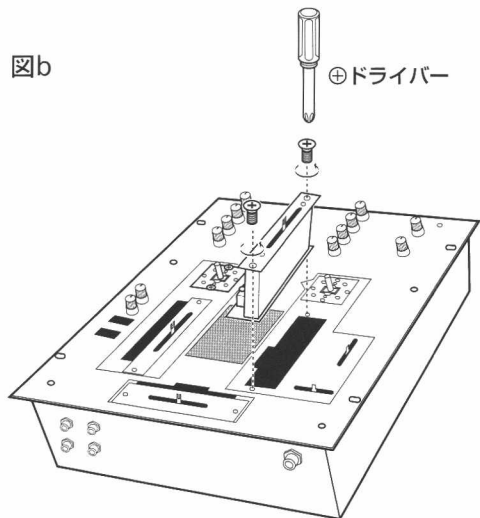
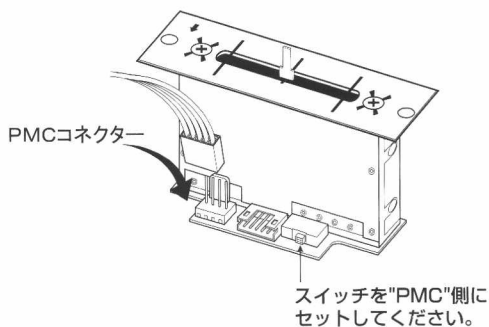
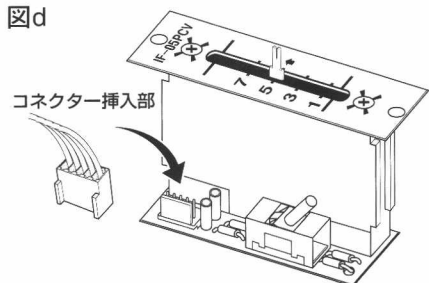
トップパネルの外し方

①図 aのように INPUT LEVEL⑫、CROSSFADER⑭、MONITOR LEVEL⑱、C.F. MONITOR⑲のツマミを取り外して下さい。(計5個)

②トップパネルを固定している4点のネジを、図aのようにプラスドライバーを使用し、外して下さい。

クロスフェーダー及びインップットフェーダーの交換

①トップパネルを外した後、図bのように、フェーダーパネルを固定している2点のネジを外し、フェーダーユニットごと上へ持ち上げてください。

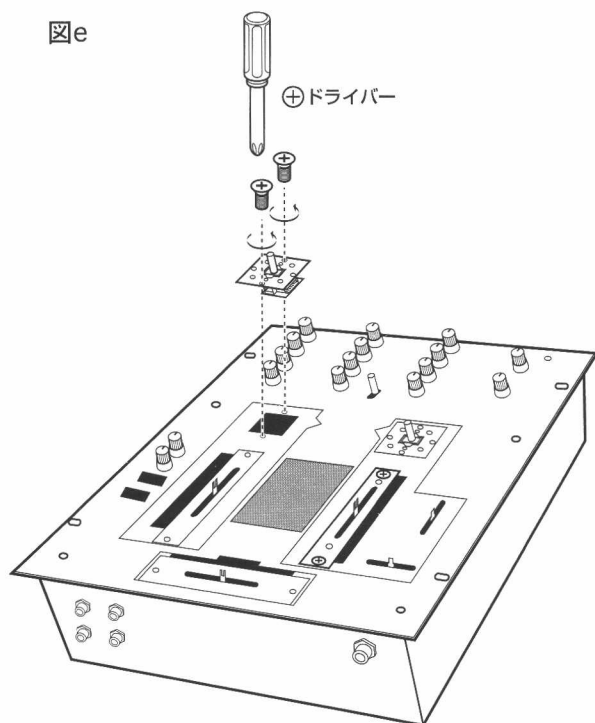
②図c、d のように、フェーダーユニットと本体側を接続しているコネクターを引っ張って取り外して下さい。(この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい)

③新しいフェーダーユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。

クロスフェーダーユニット（CF-PCV）

インプットフェーダーユニット（IF-05PCV）

スイッチの交換

①トップパネルを外した後、図eのようにスイッチパネルを固定している2点のネジを外し、スイッチユニットごと上へ持ち上げて下さい。

②図 fのように、スイッチユニットと本体側を接続しているコネクターを引っ張って取り外して下さい。
(この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい)

③新しいスイッチユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。

スイッチ方向の変換

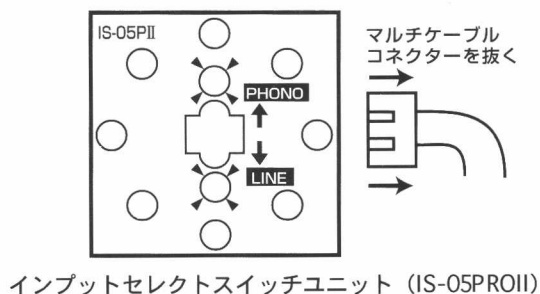
①図eのようにスイッチパネルを固定している2点のネジを外し、スイッチユニットを上へ持ち上げて下さい。

②スイッチの向きを好みの位置に設定し、ネジで固定して下さい。

③トップパネルを元の状態に戻して下さい。

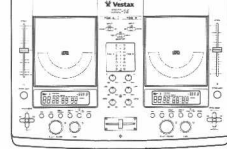
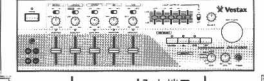
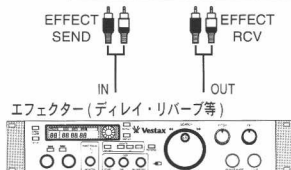
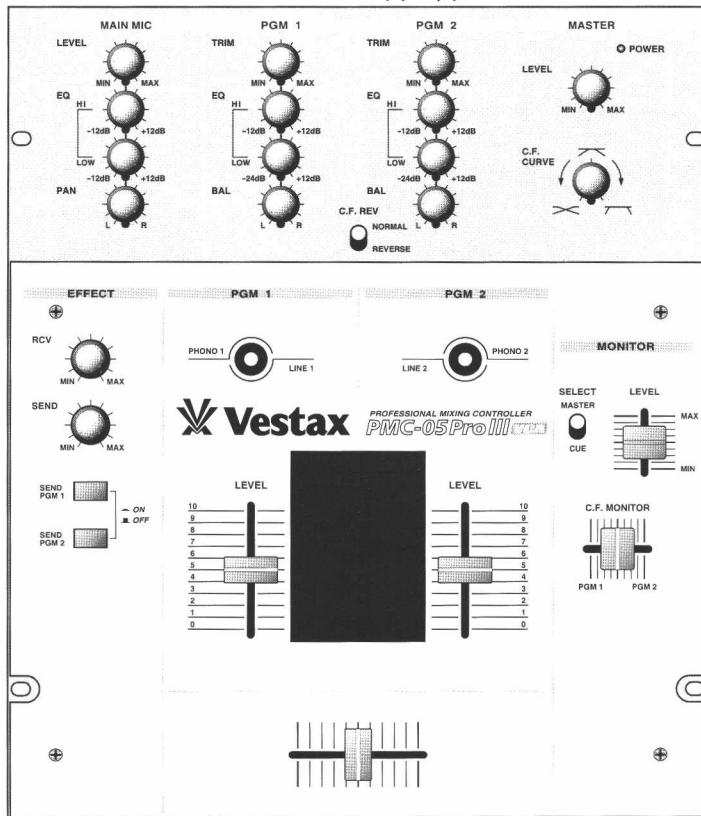
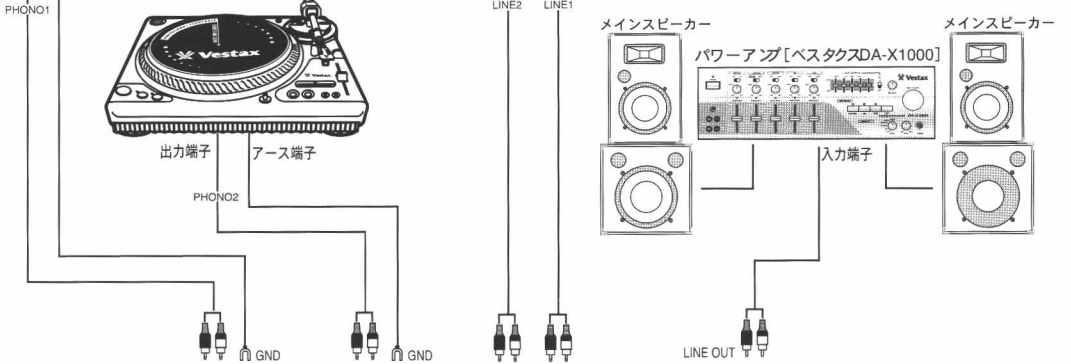
図e

図f

インプットセレクトスイッチユニット（IS-05PROII）

注　意

・フェーダー及びスイッチを交換する際は、安全のため電源をお切りください。ノイズが出たり、ショートする場合があります。

・ドライバーをご使用する際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまう恐れがありますので、サイズの合ったものをご使用下さい。

接続例

レコードプレイヤー[ベスタクスPDX-2000]
出力端子
アース端子
PHONO1
レコードプレイヤー[ベスタクスPDX-2000]
出力端子
アース端子
PHONO2
CDプレイヤー[ベスタクスCDX-16]
出力端子
出力端子
LINE2
LINE1
メインスピーカー
メインスピーカー
パワーアンプ[ベスタクスDA-X1000]
入力端子
GND
GND
LINE OUT
MAIN MIC
PGM 1
PGM 2
MASTER
POWER
LEVEL
TRIM
EQ
HI
LOW
PAN
BAL
C.F. REV
NORMAL
REVERSE
C.F. CURVE
EFFECT
RCV
SEND
MONITOR
SELECT
MASTER
CUE
PHONO 1
LINE 1
LINE 2
PHONO 2
Vestax
PROFESSIONAL MIXING CONTROLLER
PMC-05Pro III
C.F. MONITOR
EFFECT SEND
EFFECT RCV
IN
OUT
エフェクター(ディレイ・リバーブ等)

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ／オーディオミキサーの AUX IN または LINE IN に接続していませんか。	目的のソースがどこに接続されているか確認し、INPUT SELECT スイッチの設定をやり直す。
	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ヴォリュームや、各音量ヴォリューム調整が MIN になっていませんか。	各音量ヴォリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレイヤーの出力ケーブルを PMC-05ProⅢVCA 本体の LINE INPUT に接続していませんか。	PMC-05ProⅢVCA 本体の PHONO INPUT に接続し直す。
	レコードプレイヤーのカートリッジに、MC タイプを使用していませんか。	カートリッジを MM タイプに交換する。
音がひずむ。	PMC-05ProⅢVCA の出力を、プリメインアンプの PHONO 入力に接続していませんか。	プリメインアンプの AUX 等の入力に接続し直す。
	出力レベル高い CD、MD プレイヤー等を接続していませんか。	PMC-05ProⅢVCA の TRIM ヴォリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音（ハム音またはバス音）がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気機具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線を PMC-05ProⅢVCA 本体の GND ターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗していませんか。	新品のクロスフェーダーに交換する。（別売の交換用クロスフェーダーユニット CF-PCV をご購入ください。）

保証・アフターサービスについて

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ		
	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　－

JAN.2005 PMC-05PROⅢVCAJ①

Vestax Corporation

P/N: 4301-7102+2